

Q. 全国学力テスト結果が公表されたが、本町の児童生徒の成績改善は  
A. 全国トップとは言えないが、確実に向上している

Q. 菊水公園と中央公園を統合し、「開拓」「歴史」等の名称を取り入れた公園名に

A. 両公園にある歴史的建造物や開拓当時の老木を適切に管理していく



青田 良一議員

**学力向上方策の成果と今後の取組みを聞く**

**質問** 全国学力・学習状況調査（学力テスト）が公表されたが、本町の児童生徒の成績は改善されているのか。

**教育長** 学力テストは平成19年に始まり、その目的は、児童生徒の学力や学習状況を把握、分析することにより教育の結果を検証し改善を図ること。また、各教育委員会や学校が自らの教育結果を把握し改善することにある。つまり「学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる」ことをねらいとする。北海道教育委員会は、この調査で北海道が全国最下位ランクに低迷していたことから、全国平均以上を目

標とし、授業改善と家庭学習を含めた望ましい生活習慣の定着を喫緊の課題として、その解決方策を提起した。本町も道教育委員会の施策を参酌しつつ、児童生徒の学力向上や特色ある教育推進に対策を講じてきた。

「新十津川町確かな学び推進会議」設立、小中学校の連携を深める巡回指導教員の配置、チームティーチング（複数教員による授業）、習熟度別指導、少人数指導の実践、さらに、学習支援サポーターの配置や退職教員の活用などにより、子供たちが着実に課題を克服できるよう努め、学力向上の成果は確かなものとなっている。

**質問** 学力テストの公表を求める知事等の意見もあり、文部科学省は公表に柔軟性を打ち出しているが、本町の対応と今後の学力向上への方策は。

**教育長** 今年度より、学校名を明らかにした学力テストの公表が市町村教育委員会の判断で可能となったが、本町では公表しないこととしてい

る。しかし、保護者には学校便りなどで小中学校の状況をお知らせする。また、学力向上にあつては、これまでの取り組み成果を分析しつつ同様の施策を推進する。

**ふるさとを後世に  
伝承する方策を**

**質問** 菊水公園や中央公園には、本町の歴史を伝える巨木や建造物、さらに、歴史や文化人の功績を称える記念碑などがあり、大きな意味での「ふるさと」が残存する場所である。これを後世に伝承し、あるいは観光的視点も考慮し、「開拓」「歴史」等の名称を使用した公園名に改称しては。

**町長** 菊水公園は、明治23年6月、十津川村からの移住者が石狩川を渡り入植した記念の場であり、開拓発祥の地として住民に親しまれてきた。開拓記念碑、忠魂碑、文化人の功績を偲ぶ記念碑などもあり、町は、毎年この場所で開町記念式を行うなど、歴史ある公園の活用と整備に努めてきた。

一方、中央公園は、旧新十

津川小学校の跡地を都市計画法に基づき近隣公園として7年の歳月をかけ補助金を活用し整備した。古くは役場や文芸館などがあり、町の歴史的な視点からも重要視したい場所と言える。

これら二つの公園は、将来に渡り町が確かな管理を続けていくことが重要であり、名称変更や公園統合については考えていない。

**質問** 公園内にある巨木や老木を後世に伝承するための管理が必要であり、樹木医への委託や適切な紹介看板を設けては。

**町長** 菊水公園にあるハルニシ3本は、北海道から開拓記念保護樹木の認定を受けた旨の表示看板があるが、その他の樹木にはないので、その由来にふさわしい紹介看板を設けるよう検討する。

また、老木、巨木を含む樹木の管理にあつては、これまで同様、定期的な剪定を行い林業試験場などの適切な指導を受け、将来に継承できるよう保護、管理の万全を期する。